

「漱石パネル展」 ―神奈川近代文学館との連携

11月6日（月）～12月9日（土）の約一カ月間、本校図書館前廊下で「夏目漱石パネル展」を開催しました。



昼休みは賑わう図書館前廊下



『ころ』の授業に触発されて…



文豪の名にふさわしい書齋の様子



図書委員会設置の「漱石著作コーナー」

この取組は、近代文学（作家・著作）の理解を深める意図で、本校では今年度初の試みとして、神奈川近代文学館から十数点のパネルを貸出・展示をしました。

3年生の現代文の授業で『ころ』を取り扱う時期に合わせてとともに、学校説明会・入試説明会の開催時期に重ね、来校者に県内の文化財を身近に感じていただく機会を設定しようというものでした。また、図書委員会の生徒の協力を得て「漱石著作コーナー」を設置したり、本校職員による「仏性は白き桔梗にこそあらめ」の句碑等の撮影写真を掲示したりで、一層の充実をはかりました。

期間中の観覧者数は約2500名でした。「家庭人としての漱石がよくわかった」「小説だけでなく、俳句や漢詩、書画に手掛けていてすごい」などのコメントも聞こえてきました。

これからも逗葉高校は、生徒の興味・関心が広がっていくような企画立案に努めていきます。